



旧友と久しぶりに再会



市民憲章の読み上げ



のっティも新成人を祝福



女性協議会による裾直し



式典の様子



鮮やかなボードの前で記念撮影



松田 悠真さん

野々市市で育ったことにとても感謝しています。これからは成人として自立して頑張っていきます。ありがとうございます。



宮下 陸さん

僕にとって成人式を迎えられたことはとても光栄なことです。これからは20年の感謝を込めて頑張っていこうと思います。



三原 蓮之介さん

僕はこの野々市市で20年間たくましく育ててもらいました。皆さんの感謝の気持ちを持ってこれからの人生を生きていきたいです。



石見 卓也さん

周囲の人に感謝の気持ちを忘れずに責任ある行動を心がけ、これからも頑張っていきます。



新田 瑠菜さん

20年間支えてくれた家族や周りの方々に感謝しています。この気持ちを忘れず、成人としての自覚を持ってこれからも頑張りたいです。



中野 萌佳さん

野々市市で生まれ育って早20年がたちました。これからもずっと住み続けたいと思うくらい野々市市が大好きです。



太田 康介さん

20年間支えてくれた皆さんに感謝しています。以上で社会に貢献できるよう、精一杯頑張ります。



道中 将浩さん

多くの方々のこすきで成ることができました。これからは恩返しができるよう、感謝の気持ちを持って生きていきます。



川島 梨奈さん

今まで支えてくれた家族や周囲の人に感謝しています。感謝の気持ちを忘れずこれからも成長していきたいです。



石畝 采果さん

多くの人に支えられて成人とができ、感謝の気持ちです。成人として自覚を持ち、社会に貢献できるように頑張ります。



自覚と責任を持って 新たな未来へ 平成31年市成人式

1月13日(日)、文化会館フォルテで成人式が行われ、市内では男性504人、女性290人の合計794人が成人を迎えました。式典の前には、小中学校時代の思い出をスライドショーで振り返る「20年のあゆみ」を上映。懐かしい写真に加え、恩師からのメッセージも多数登場し、場内は大きな歓声と笑顔に包まれました。

自分で選んだ「道」を歩む
式典では、栗市長が4月に開館する「にぎわいの里ののいち カミィノ」の愛称・カミィノがスペイン語で「道」を意味することに触れ、「人生もまた「道」といえ、選んだ道が歩きやすい道でないこともある。幾多の中から選んだ自分なりの道を極めてほしい」と式辞を述べました。

人生をしつかり生きる
これに続いて、新成人を代表して道中将浩さんが「日々の出来事から多くを吸収し、一人一人の持つ個性を生かしながら、正しいものを見極め新たな未来を作りたい。また、お世話になった方々への感謝を忘れず、自分の人生をしつかりと生き、ふるさと野々市市の発展に貢献したい」と謝辞を述べました。

実行委員の声

成人式実行委員会は、まちづくりの一助として、新成人が自分たちの手で成人式を運営するために組織されています。

今年の実行委員は10人で、アトラクション「20年のあゆみ」のビデオ制作、成人式の司会、市民憲章と謝辞の読み上げなどを行いました。